

手づくり郷土賞認定証授与式が開催されました。 ～「三条市民と大学の協働による小さな里山づくり」～

国土交通省では、社会資本と関わりをもつ地域づくりの優れた取組を表彰し、好事例として広く全国に紹介することで、個性的で魅力ある地域づくりに向けた取組が進むことを目的として、毎年、「手づくり郷土賞」を開催しております。

平成23年度は、全国で一般部門：12団体、大賞部門：4団体が選定されました。

一般部門では、三条市のポケットパーク実行委員会が取り組んでいる「三条市民と大学の協働による小さな里山づくり」が選定され、1月31日（火）に三条市役所において認定書授与式が行われました。

当活動は、「里山の緑を まちなかに」をテーマに、JR弥彦線高架脇の不整形な残地に、地域住民・地域の専門家・大学生が協働して、まちの中に一年にひとつずつ里山の緑だけ移植して小さな里山（ポケットパーク）をつくる取組であり、平成19年から始まっています。

手づくり郷土賞を契機に、さらなる活動の発展が期待されます。



手づくり郷土賞認定証授与式（三条市）

関連URL: 三条市ホームページ

<http://www.city.sanjo.niigata.jp/tosikei/page00194.html>

関連URL: 北陸地方整備局記者発表資料

<http://www.hrr.mlit.go.jp/press/2011/01/120120kikakubu.pdf>

関連URL: 国土交通省記者発表資料

http://www.mlit.go.jp/report/press/sogo03_hh_000032.html

萬代橋に込められた先人の思いを感じ取って～社会科学学習～



児童たちは積極的に学習に取り組んでいました。



アーチの大きさの違いを歩数で実感！

去る1月27日（金）と31日（火）に新潟大学教育学部附属新潟小学校4年生70名が、社会科学学習の一環として萬代橋を学びに訪れました。当日は積雪が多く、気温も低い天候でしたが、それに負けないほど学習意欲が高い活発な児童たちが、熱心に萬代橋について学習していました。

萬代橋の外観を見ながら、6連アーチがもつ美しさが御影石を施した重厚感のある外観をすっきりとみせている、というデザインの美しさや、当時（昭和4年）の最先端技術である空気潜函工法により、新潟地震（昭和39年）にも負けない基礎をもつ橋であることなど、萬代橋が国の重要文化財に指定された理由に聞き入っていました。また、萬代橋の橋側灯のライトアップは、新潟市民の募金から始まったこと、春には歩道にチューリップを飾る運動（チューリップフェスティバル）が行われることなど、萬代橋は新潟市民から愛されている橋であることを知り、児童たちからは驚きの声が多く上がっていました。

学習を終え、児童たちからの感想には、「いつも萬代橋を通っていたけど、ただの橋ではなかった！」や「萬代橋が大切な橋だからこそ、みんなが募金するんだ。」など嬉しくなるような言葉を多く聞くことができました。

今後は、初代萬代橋まで遡って学習を進めるとのことです。萬代橋を架けた先人の思いや萬代橋の保存に取り組んでいる人々の努力や願いなどを学び、新潟の未来を考える気持ちを醸成させるきっかけになってもらえればと思います。

関連URL: 記者発表資料

<http://www.hrr.mlit.go.jp/niikoku/kisha/pdf/2012012401sogogakusyu.pdf>

関連URL: 重要文化財『萬代橋』に関するサイト

<http://www.hrr.mlit.go.jp/niikoku/info/bandaibashi/index.html>

萬代橋を表示する案内標識を設置しました。

2月6日（月）に萬代橋の西詰側と東詰側の2箇所に萬代橋を案内する標識を設置しました。

国の重要文化財である萬代橋は、新潟市のシンボルの1つとして観光施設にもなっています。

自動車に乗っていると萬代橋を見落としがち、分かりづらいという意見から、萬代橋を分かりやすく案内することを目的として案内標識を設置することにしました。



案内標識設置後状況（西詰側）



案内標識設置後状況（東詰側）

案内標識の設置位置は、萬代橋の景観を損なわないように配慮し、橋より30mほど離れた距離で設置を行いました。

機会があるときに見てください。

関連URL：記者発表資料

<http://www.hrr.mlit.go.jp/niikoku/kisha/pdf/2012013001bandaibashi.pdf>

平成23年度新潟国道技術研究発表会が行われました！

2月21日（火）、新潟ユニゾンプラザにおいて、本年度、新潟国道事務所の工事等を受注された皆さんによる、日々の仕事を通じて実施した新しい技術の導入や機械の改良、あるいは施工管理、安全対策等の創意工夫の発表会を開催しました。応募のあった71編の中から特に優秀なアイデアとして表彰をおこなった11編について、普段の工事現場とは違う雰囲気の中、やや緊張した面持ちで発表がおこなわれ、会場の方々も自分の工事現場で活かせるアイデアがないか熱心に聞き入っていました。



関連URL：記者発表資料

<http://www.hrr.mlit.go.jp/niikoku/kisha/pdf/2012021501niikokukenkkyu.pdf>

関連URL：平成23年度新潟国道技術研究発表会応募報文について

<http://www.hrr.mlit.go.jp/niikoku/info/niikokukenkkyu/oubohoubun.pdf>

編集・発行・お問い合わせ

国土交通省 北陸地方整備局 新潟国道事務所 計画課

電話 025-244-2159（代表） 〒950-0912 新潟県新潟市中央区南笹口2-1-65

E-MAIL： niikoku@hrr.mlit.go.jp みちナビ新潟：<http://www.hrr.mlit.go.jp/niikoku/index.html>

